



GOVERNOR  
GAVIN NEWSOM

## あなたの権利を知りましょう

**観察・記録・記録保存を行う権利があります。落ち着いて行動しましょう。**

- 公共の場で行われる移民に関連する法執行機関による逮捕活動を、あなたは合法的に**観察・記録・記録保存**することができます。
- **落ち着いて行動すること**は、あなた自身の安全と拘束されている人の安全を守ることにつながります。連邦職員に対して口頭で攻撃したり、身体的に接近したりすることは、状況を悪化させ、周囲すべての人を危険にさらす可能性があります。連邦政府は、連邦職員を**妨害・阻害した者**に対して刑事責任を追及する場合があります。
- たとえその逮捕が不当だと思っても、無理に抵抗したり、体を張って落ち着いて、言葉で自分の権利を主張しましょう。

### 移民当局による逮捕を目撃したときの対応方法：

<u>できること：</u>	<u>してはいけないこと：</u>
<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 安全な距離から記録する。</li><li>✓ 拘束されている人に対し、安全であれば名前や連絡先を尋ねる。</li><li>✓ その人が現場に残した持ち物について助けが必要かどうか尋ねる。</li><li>✓ 逮捕後は、地域のラピッドレスポンスネットワーク（緊急対応ネットワーク）に連絡し、出来事を報告して記録を共有する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>✗ 移民の身分、出身国、住所や勤務先などの個人的な情報を尋ねない。</li><li>✗ 職員に近づいたり、対峙したりしない。それは妨害とみなされる可能性があります。</li><li>✗ 逮捕を妨げようとしてはいけない。</li></ul>

## 連邦移民当局の職員を見分ける方法：

- 職員は戦術用の装備を着用している場合もあれば、私服や、ICE、ERO、Border Patrol、その他の連邦機関の所属を示す服を着ている場合もあります。
  - 彼らは自らを「police（警察）」と名乗ることもありますが、実際には連邦の権限の下で行動しています。
- 

## よくある質問：

### 随時更新予定

#### 移民当局による逮捕を目撃した立場として、私にはどんな権利がありますか？

- 公共の場で行われる逮捕を**観察・記録・保存**することができます。
- これらの出来事は非常にストレスが大きく、感情的になりやすいものですが、**落ち着きを保ち、冷静さを促すことは**、あなた自身の安全と、拘束されている人の安全を守るために重要です。
- 連邦職員に対して口汚く罵ったり、接近したりすると、**あなた自身と拘束されている人を危険にさらす可能性があります。**
- 連邦政府は、連邦法執行官の職務を妨害または阻害した人に対して、**刑事責任**を問う方針を明確にしています。
- たとえ自分の権利が侵害されていると感じても、職員に対して口論したり、抵抗したり、妨害したりしてはいけません。落ち着いて、**明確に言葉で自身の権利**を主張することができます。
- **暴力は決して解決策**ではありません。また、連邦職員への暴行や逮捕の妨害は犯罪行為です。
- もし自分の権利が侵害されたと考える場合は、弁護士など資格のある法律専門家や、さらには**ACLU**などの団体に連絡することができます。

#### 移民当局による逮捕を目撃したとき、私にできることは？

- 落ち着いて、安全な距離から逮捕の様子を記録し、拘束されている人の名前や連絡先を尋ねましょう。
- その人が現場に残した私物の管理について、**助けが必要かどうか**確認しましょう。
- 必ず**安全な距離を保ってください**。連邦職員があなたの記録する権利を尊重せず、妨害だと主張する場合もあります。距離を保つことで、安全を確保しつつ逮捕の様子を記録することができます。

- 逮捕後には、地域のラピッドレスポンスネットワークに連絡し、出来事を報告したり、情報・写真・動画を共有することができます。（リンク追加）
- 出身国、生年月日、移民の身分や移民歴を尋ねては**いけません**。
- 自宅の住所や勤務先を尋ねては**いけません**。

### 自分や家族が逮捕される時、それが連邦職員かどうやって分かりますか？

- 連邦職員は、所属する機関が分かる服装や装備を着用していることがあります。私服や戦術装備を着ている場合もあります。また警察と名乗ることもあります。
- 連邦職員は、不法滞在の疑いがある人を逮捕する法的権限を持っています。たとえ自分の権利が侵害されていると感じても、職員に対して**口論したり、抵抗したり、妨害したりしてはいけません**。拘束される人に対して不満や言葉で自分の**権利を主張することは可能です**。

妨害すると、自分や拘束されている人に悪影響が及ぶ可能性があります。

- ◆ 確認する：[逮捕時の権利に関する情報](#)
- ◆ 落ち着いて行動しましょう。逃げたり、抵抗したり、妨害したりしないでください。それらの行為は、自身の状況を悪化させる可能性があります。
- もし誰かが誘拐されていると思われ、連邦捜査官に逮捕されていない場合は、**地の警察に電話してください**。

### 移民職員は逮捕に令状が必要ですか？

- 移民職員は、移民法違反の疑いがある人を逮捕する際、裁判官の署名入り**令状を必ずしも必要としません**。ただし、令状なしで逮捕する場合には一定の基準を満たす必要があります。あなたは目撃者として、たとえ違法な逮捕だと思っても**介入することはできません**。
  - ◆ 連邦職員の逮捕を阻止しようとしては**いけません**。
  - ◆ 代わりに、**安全な距離を保ち、起きた出来事を記録してください**。その記録は、拘束された人の裁判に役立つ場合があります、職員を法の下で責任追及する助けになることもあります。
  - ◆ 動画：[ICEによる逮捕を正しく撮影する方法](#)
- **裁判官の署名入り令状が必要です**。あなたは目撃者として、たとえ違法な逮捕や捜索だと思っても**介入することはできません**。
  - ◆ ただし、移民職員は裁判官の令状なしで、企業の外部立ち入り禁止の場所に立ち入ろうとすることがあります。
  - ◆ その場所の所有者や管理者であれば、ここは非公開エリアであり、立ち入りを

許可しません。と伝えることができます。

- ◆ 移民職員の行動を阻止したり妨害したりしないでください。あなたの安全を危険にさらす可能性があります。
- ◆ 代わりに、安全な距離から**出来事を記録**してください。

### 賞金稼ぎ（バウンティハンター）は連邦政府と協力して逮捕を行っていますか？

- DHS（国土安全保障省）は、連邦政府が移民取締のために賞金稼ぎと契約して**いない**ことを公表しています。
- ICE（移民税関執行局）は、移民逮捕の際に、Border Patrol（国境警備局）、DEA（麻薬取締局）、FBIなど他の連邦機関と協力しています。場合によっては、他州からの職員を連れてくることもあります。
- カリフォルニア州では、賞金稼ぎは bail fugitive recovery agents（保釈保証被告追跡エージェント）と呼ばれます。訓練を受け、免許を保持し、保険にも加入していることが義務付けられています。保釈金保証会社によって雇われ、刑事裁判に出廷しなかった被告を探し出して。

### 移民職員に拘束された場合、どうすればよいですか？

- **嘘をついたり、偽の書類を渡したりしないでください。**
- **黙秘権があり、すぐ弁護士を呼ぶよう要求する権利があります。**何か説明したり、言い訳をしたりする必要はありません。
- 何かを話す前や書類に署名する前に、弁護士と相談する権利があります。
  - ◆ ICEに拘束された場合、弁護士と相談する権利がありますが、政府が弁護士費用を負担する義務はありません。無料または低価格で相談できる弁護士のリストを要求することは可能です。
- 拘束された場合、自国の領事館に連絡する権利があり、ICE職員に領事館に知らせてもらうこともできます。領事館は、

### カリフォルニア州の移民逮捕の影響を受けた人々を支援するには？

- **拘束された人々に移民法の支援を行う地域の団体や、拘束や国外追放の影響を受けた家族をサポートする団体を応援**することができます。
- ◆ アクセスはこちら：[www.immigrationlawhelp.org/](http://www.immigrationlawhelp.org/)

## 事前に備えておきましょう。

- 逮捕される可能性に備えて、自分自身や家族の準備をしておくことが大切です。家族や弁護士の電話番号を覚えておきましょう。子どもがいる場合や、服薬している場合は、緊急時の対応計画を立てましょう。
- 移民関連の書類のコピーを、信頼できる人に預けておきましょう。
- 保持している場合は、移民番号（「A」番号）を覚え、家族に伝えておきましょう。A番号は、非市民の移民に移民当局が付与する番号です。家族が[あなたの居場所](#)を確認する際に役立ちます。
- 逮捕される可能性が心配な場合は、移民弁護士に相談し、署名済みの[G-28フォーム](#)を

## 職場での移民逮捕に関する情報は、こちらをご覧ください：

- [カリフォルニア州労働監督官およびカリフォルニア州司法長官による雇用者向け合同ガイダンス](#)
  - [小規模事業者向け情報](#)は、6月のウェビナーをご確認ください：小規模事業者向け移民コンプライアンス
-